学校番号	323

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「新説社会と情報」（東京書籍）						
副教材等	新編　社会と情報　資料ノート(東京書籍)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っている機械に対する理解を深め、どのような使い方が良い使い方なのかを考えましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、演習等を通して考え、友だちを含めた多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。
・「作る・発信する・発表する・評価する」体験を基に主体的な学習の力を身に付けましょう。

2　学習の到達目標

・日常のさまざまな問題を解決するために、コンピュータを活用して情報の収集や整理を行うことができる。
・情報化が社会に及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任を理解した上で、ネットワークを利用したコミュニケーションを含め、情報社会に積極的に参加する。
・コンピュータの仕組みやネットワークの仕組みを理解し、それらを適切に活用できる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度	・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力	・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている	・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		

1	オリエンテーション	・学習目標、授業の進め方、評価、コンピュータ室の使い方について知る。	○				・「社会と情報」の学習目標について理解できる。a	アンケート
	1章 01　情報とさまざまなメディア	・情報とは何を意味するか考える。 ・メディアの意味と特徴を学ぶ。		○		○	・情報やメディアの意味や特徴を理解できる。b・d	観察 プリント提出 小テスト
	02　伝達の仕組み	・情報伝達のメディアの種類を知る。				○	・情報伝達の目的に応じたメディアの種類が分かる。d	
	03　ネットワークで広がる世界	・ネットワークでの情報伝達におけるメディアの役割を学ぶ。 ・インターネットでできることを挙げて、確認してまとめる。				○	・ネットワークでのメディアの役割や、インターネットを活用してできることを理解できる。d	実技テスト 観察
	04　情報の共有	・SNS や動画共有サイトなど情報の共有サイトとの付き合い方を考え、どんな種類があるか調べてまとめる。				○	・ソーシャルメディアについて理解でき、その種類と特徴が分かる。d	
	実習　タッチタイピング	・ホームポジションなど、タッチタイピングの方法を習得する。	○		○		・タッチタイピングの基礎知識を身につけ、自力で練習ができる。初回からの伸び率や文字数、ミスの数等。a・c	実技テスト
		・学校や部活動のポスターを制作し、相互評価を行う。その後、上位作品への投票をする	○	○	○	○	・取り組み姿勢や表現力・デザイン性。学んだことが作品に生かされているか。a・b・c・d	相互評価 作品評価

	05 インターネットの利用	・電子メールやWebページなどインターネット利用時のサービスについて学ぶ。			○	○	・電子メール、WWWなどが利用できる。c・d	観察 プリント提出 小テスト
	06 デジタルデータの特徴	・デジタルデータについてプラス・マイナスの両面から特徴を理解する。				○	・プラス・マイナスの両面からデジタルデータの特徴を理解できる。d	プリント提出
	07 デジタルの世界	・デジタルとアナログについてそれぞれのメリット・デメリットを学ぶ。				○	・アナログとデジタルそれぞれのメリット・デメリットが理解できる。d	ワーク
		・情報の量の単位、様々な記録メディアの容量について学ぶ。			○	○	・2進法、情報の量の単位、各記録メディアの容量を計算できる。c・d	ワーク
	08 数値と文字のデジタル化	・2進・10進・16進数について学ぶ。			○	○	・2進・10進・16進数の計算、文字コード表の変換ができる。c・d	小テスト
		・文字コードやフォントについて学ぶ。				○	・フォントの特徴が理解できる。d	
	09 画像のデジタル化	・画像のデジタル化について学ぶ。		○	○	○	・標本化・量子化・符号化の流れが理解できる。b・c・d	観察 参加態度と積極性
		・色の表現方法について学ぶ。		○		○	・光と色の三原色が理解できる。b・d	
	10 音と動画のデジタル化	・音や動画のデジタル化や圧縮の仕組みについて学ぶ。			○	○	・音や動画のデジタル化や圧縮の仕組みについて理解し、コンピュータ上で音声データを扱える。c・d	

2	2章 13 インターネットへの接続	・インターネットに接続する手順や、接続できる機器について確認する。	○			○	・インターネットに接続する手順や、接続できる機器が理解できる。a・d	観察 プリント提出 アンケート 小テスト
	14 WWW 15 電子メール	・WWW のハイパーリンク、HTML、URL、DNS などを学習する。	○			○	・WWW の仕組みや、WWW に関する用語を理解できる。a・d	
	16 情報検索	・ドメイン名、SMTP、POP や IMAP、Web メールについて学習する。	○			○	・電子メールが届く仕組みや送受信のプロトコルを理解できる。a・d	
	検索大会を行い、短時間でうまく情報を引き出すコツを再確認する	・検索エンジンの種類（カテゴリ検索とキーワード検索）と方法を学び、効率よく検索する工夫を考える。	○	○		○	・検索エンジンの仕組みを理解し、効率よく検索できる。a・a・b・d	実技テスト グループワーク
	17 情報の信頼性	・メディアリテラシーについて学び、インターネット上の情報の信憑性を考える。		○		○ ○	・メディアリテラシーについて理解し、実践できる。b・d ・コミュニケーション手段の発達の変遷を理解できる。d	
	18 コミュニケーション手段の発達	・アナログからデジタルに変化したものを挙げ、メディアの進化を学習する。	○	○	○	○	・民泊でお世話になる方への自己紹介カードをデジタル・アナログ双方を使用して製作する。a・b・c・d	
	19 コミュニケーションの特徴 20 上手なネットコミュニケーション実習5章 43 言葉で絵を伝えよう（p.122）	・対面とインターネット上でのコミュニケーションの違いについて考える。 ・インターネット上で上手にコミュニケーションするための注意点を確認する。	○	○	○		・匿名性が高い、ログが残るなどインターネット上でのコミュニケーションの特徴や注意点を理解し、上手に活用できる。a・b・c	

3	藤井寺 No.1 コンテスト	1～2学期に学習したことを駆使して動画・パワーポイントを各自で制作する。クラス内で発表し相互評価を行いクラスごとに 1 位を決定し、その後、教員も含め、藤井寺 No.1 を決定する。	○	○	○	○	・現在までの知識が定着しているかをはかるとともに、授業への取り組み、相互のコミュニケーション能力、主体的に取り組む姿勢、動画や発表における技術力や創意工夫する姿勢がある。a・b・c・d a：製作時の取り組み姿勢や、積極性・モラルに関する姿勢・撮影許可を得ているか等の製作手順を踏んでいるか相互評価の姿勢や発表態度 b：動画製作に当たって、まず必要な情報を整理できているのか、提出プリントなどで評価する c：作品評価・プレゼン方法や態度 d：ワークシートとプリント提出・課題提出	観察 プリント提出 アンケート 小テスト

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。